

ホーム名:グループホームはくとう(1)						
自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人理念を基本とし、グループホーム理念を掲げその理念を職員全体で共有し、介護サービス向上に努めている。</p>	<p>理念は「慣れ親しんだ地域」「心地良い暮らし」を主体としており、地域密着型として、且つ、家庭的なホームである事の実現を目指されている。具体的な実践の仕方については、5ヶ条によって纏められ全職員にわかり易く説明され、共有化も図られている</p>	<p>理念の文言は各階や、玄関入口にもにも掲示されてはどうか。福祉事業所としての強い意志表示にも繋がると思われます。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>コロナ渦により3年間中止していたが、今年の夏祭りから地域の祭りに参加。今後は以前のように積極的に行事に参加し、地域交流を深めていきたいと思っています。</p>	<p>自治会にも加入されており、又、町内会の回覧板も入手されており、地域の動静はよく把握されている。しかしながらコロナ渦が完全に鎮静化しておらず交流再開はまだ、部分的なものに留まっている。状況に照らして徐々に再開の予定とされている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域密着型サービス事業者連絡会に加入して、地域住民の方へ認知症理解や支援を広める活動に参加していたが、コロナウイルスの影響で中止していた。今後、徐々に活動を再開する予定です。</p>			
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ渦により運営推進会議は2ヶ月毎に事業所内で開催し市役所に報告書を提出していたが、今年7月より再開していますが、ご家族や地域の方の参加には至っていません。今後、徐々に以前のように戻していきたいと思っています。</p>	<p>感染防止対策の最優先の為、管理者、計画作成者等の事業所内部の人員で会議を進めていたが、本年度の第2回目から市高齢介護課にも参加されている。今後は徐々に家族や外部からの知見者にも参加を促し、より快活な運営会議にされていく方針とされている。</p>	<p>運営推進会議は家族にも関わりがあるものですから、情報共有の観点からも議事録の配布をされる事が望まれます。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を事業所内で開催し事業所の実情やサービスの取組状況を報告書にまとめて、2ヶ月毎に報告していました。地域密着型サービス事業者連絡会リモート会議に参加している。</p>	<p>事業所内の福祉活動や事故報告もされており、市町村とは常に基本的に重要な関係維持を図られている。また地域密着型サービス事業者連絡会に参加し、グループホームどうしの情報交換を行うなどされて市町村全体との連帯感を深めている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の对象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>定期的に研修会を行うこと、また日々の業務の中でも、身体拘束になり得る事案が発生しそうな場合は、会議の場を作り早急に対応策を話し合うようにしている。</p>	<p>法人として「身体拘束排除宣言」されている。また、「身体拘束ゼロ推進標準マニュアル」も策定されている。実務的には研修会も開かれている。管理者は外部研修を受講され各階のリーダーに研修内容を伝達されている。支援上で判断が難しい場合は職員どうして話し合わせ、徹底した身体拘束のない支援を実践されている。</p>		
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者が外部研修に参加して、高齢者虐待の現状や対策を学び、職員への伝達研修を行い、虐待が見過ごされることがないように努めている。</p>			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在活用されている方はおられないが、必要になった場合にすぐに対応できるように、相談できる機関や担当者と連携を図るようにしている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退所時は入居者もご家族も不安を抱えていることが多いため、ゆっくりと時間をかけて理解・納得いただけるように説明をするように心掛けている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者は日常生活の会話の中で、ご家族は面会時や電話、メールでの近況報告の時に意見や要望を聞くように努めています。その意見や要望は朝礼時や職員会議時に職員間で共有し支援に反映させるように努めている。</p>	<p>利用者は自分の感じた事を自然に話されるので、それを要望として聞き取られている。家族は面談、電話、メールという方法で対談され、要望として聞かれている。要望、意見は共有された後、管理者と職員が話し合わせられ反映に向けて話し合われている。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>日常的に職員からの意見や提案は多く、管理者やリーダーが聞き取っている。朝礼や会議でまとめた意見と定案も含め、運営に反映するように努めている。</p>	<p>職員は自分の意見を率直に話されている。事業所の中はコミュニケーションのしやすい雰囲気づくりにあるといえよう。意見、要望も月一回以上の職員会議などでよく話し合われており、反映出来るように務められている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は職員一人一人の努力や実績、勤務状況を把握し、給料の水準、労働時間、やりがいなど、職員が向上心を持って働けるように環境整備、条件の整備に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は法人内外の研修を受ける機会を作り、働きながら力量が向上できるように努めている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス事業所連絡会に参加し、同業者とネットワークを作り、意見交換することでサービスの質の向上に努めている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時はこれまでの環境から変わられ不安になられる事が多くあると思うのでゆっくりお話をして不安に思われている事を理解して信頼関係を築けるように努めています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時にご家族様がどのように生活を望んでおられるかを伺ってその環境作りを行うように努めています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者の気持ちを優先しながら、お一人お一人の様子を観察してその時に応じて支援出来るように努めています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方の関係性を見ながら、適度な距離を保って、コミュニケーションを取りながら安全に生活が送れるような環境作りが出来るように努めています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時には、ご家族様とゆっくりお話が出来るように配慮し、小さな変化もお伝えすることに努めています。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>近隣の公園への外出や面会への支援も積極的に行っています。</p>	<p>利用者の友人との面談や、馴染みの美容院や整骨院にも行かれるようにされたりしている。家族の協力も求められる時もあるが、利用者が望まれれば可能な限り、今までとの関係継続への支援を実施されている。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係性を大切にして職員は常に穏やかな気持ちで接する事で利用者様に安心して過ごして頂けるようにしています。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用終了後も、電話等で近況報告をいただいたり、相談事があれば来所いただいています。これからも、相談しやすい関係づくりに努めていきます。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の様子を観察しつつも違う様子があれば職員間で共有して小さな変化を早めに気付くようにしています。	日々の関わりの中で声かけなどをして、返事や表情の違いなどから心意を把握するようにされている。得られた情報については、職員で共有し話し合いをされ、正確な判断をするようにされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	今までの暮らし方を本人やご家族様から聞き取り、在宅サービスで関わった職員の方から情報提供を頂き把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方のできる事を見極めて声掛けや介助が過剰にならないように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の希望や思い、家族様の意向を聞き取り職員会議にて個別の処遇を話し合ったり、みんなの意見やアイデアを反映して実践できる介護計画を作成するように努めています。	各ユニット毎にそれぞれ介護経験の豊富な担当者を配置されている。計画作成に当たっては本人を始めとして、管理者や、家族の要望や、健康状態についての主治医の意見なども聞かれている。計画期間は1年とするも、半年で利用者の現状に沿った見直しをされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を出来るだけ詳細に記録しています。利用者様の日々の様子や職員との会話の内容を職員間で共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族様の意向を聞きながら、できる限りの情報提供と柔軟な対応を心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の情報収集をし、多様な活用法が行えるように努力し、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人及びご家族様が希望された先で受診していただき、必要に応じて付き添い支援など適切に医療が受けられるように支援している。	家族や本人の希望に応じて、入所以前のかかりつけ医の受診を認められている。受診には職員の付き添いや事業所の車も出されたりする。事業所の協力医は貴島病院内のはくとう診療所であり、1～2ヶ月に毎に往診がなされている。	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>はくとう診療所看護師へ随時状況を報告し、適宜アドバイスを受けられる関係があります。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院が必要になった場合は、入院に必要な準備や付き添いや送迎等、できる限りの対応はさせていただいています。入院後は面会や電話面会や電話で病院の看護師や相談員の方から状況を確認し早期退院ができるよう努めています。</p>		
33 12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>今まで終末期の方の対応はありませんが、今後希望があった場合は、早い段階から支援を行えるように、地域で協力が得られる医療機関との連携を図っていきます。</p>	<p>事業所の現在の入居生活の支援体制は重度化までの対応とされている。その為、重度化になる前からの家族と話し合いが行われている。家族の意向が優先されるが、医療入院や受け入れ先が決められない場合は、事業所の方で看取り可能な施設や病院などを紹介されている。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時等の事故発生時の対応はマニュアル化し、各ユニットに準備している。研修も定期的に行うように努めている。</p>		
35 13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常災害時対応マニュアルを作り、各ユニットに準備している。定期的に消防訓練や避難訓練を実施している。</p>	<p>避難訓練はされてはいるが、定期的ではありませんので、今後の課題として、早い時期に改善されて頂きたい。非常災害時対応マニュアルが策定されていますのでより共有化される事も望めます。</p>	<p>避難訓練時に近隣の方にも視察を求められて、どのような協力が可能かを話し合われてはどうでしょうか。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>お一人お一人の行動を見守り、その方の過ごし方を把握して過剰な声かけをしない様に心がけています。</p>	<p>認知症ケア・接遇に関する研修会や勉強会を実施されている。言葉使いの重要性をよく理解されている。職員全員が利用者の誇りやプライバシーを尊重するように取り組んでいる。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様の表情を見ながら困っている事や希望などを会話の中で自然とお話して頂けるようにしています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>フロアで体操をしたい方、居室でゆっくりと過ごされる方、その方の希望に合わせて過ごして頂いています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>いつも清潔な衣類をきて頂けるようにしています。化粧品の管理をしています。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>おかずの取り分けは職員と一緒にしています。お米洗いや食器洗い、食器拭きも利用者様の方から「手伝おうか」と言って下さっています。</p>	<p>給食業者のクックデリから食材の配達を受けられており、栄養バランスの点で安心といえよう。調理は事業所で行っている為、食品の匂いが喜ばれている。利用者に盛り付け等なども一緒に行っている、皆との一体感をもたれている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>固いもの、噛みにくい食材はその方に合わせて大きさを調整しカットしています。飲み物は温かいものを好まれる方は温かい状態で提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一部介助や声かけをして行っています。毎日義歯の洗浄をしています。できない方は職員が介助しています。歯の調子が悪い方は歯科往診を受けて頂いています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>その方よっての排泄のタイミングを把握してトイレ誘導しています。ズボンの上げ下げなどご自身でできる事を観察して出来ないところを介助するようにしています。</p>	<p>一人ひとりに合った排泄支援を考えられている。できる限り自分で出来る所まで見守りされ、それに慣れるようにされていく。これの繰り返しから段々自分で出来るようになっていく支援を実施されている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の水分摂取量の把握を行い、その方に応じて便秘の対応しています。乳製品は毎日飲んで頂くようにしています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の順番にこだわりがある方へはなるべく希望に沿うように入浴の声かけをしています。その方に合わせて必要な介助をしています。</p>	<p>入浴は原則として週2回午後からとされている。体調によっては午前中に入浴する場合もある。拒む入居者については、会話や時間差で誘い直したりされる。季節湯も利用したりして楽しんでもらっている。</p>	

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>お一人お一人の生活リズムを崩さないようにしています。季節に合わせて寝具や室温の調節をしています。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬介助はその方に合わせています。日付や名前の確認を服薬時に毎回行い飲み込まれるまで確認しています。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>お米洗いや食器洗いやなど役割を持って頂いて毎日の日課として行って頂いています。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるよう支援している</p>	<p>気候の良い時にはグループホーム前に出て外気浴をして頂いています。近所の公園まで散歩に出かけています。</p>	<p>日常的な外出先としては事業所から徒歩10分程度のほど良い所に大正公園があり良く出かけたがりしている。公園には子供達の姿を見かけたり季節によっては花も見れる。利用者の殆どは公園の近隣の方であり懐かしの場所でもある。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お財布にお金が入っている事で安心される利用者様は本人様がいつでも確認できるように居室で保管しています。お金の心配がある利用者様は安心されるまでゆっくと傾聴しています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎年賀状を送ったり、ご家族様や友人からのお手紙はすぐにお渡ししています。ご家族様からのお電話はお繋ぎしています。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合わせた飾りつけをしたり、室温やフロアのテレビの音量が大きくならないように気を付けています。適度に換気を行ったり、床のゴミは毎食後掃き掃除をしています。</p>	<p>リビングは全体的に明るく清潔感がある。特に三階は採光がよく明るい。また季節感を失わないような飾り付けもされていて楽しい。壁は静かな明白色、床は木目調で落ち着いた感じである。利用者は適切な間隔を維持しながら、ゆったりと寛がれていた。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事の時以外にフロアのソファに座って頂くと普段お話されていない入居者様の方もよく会話されているので誘導するようにしています。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用されていたタンスやなじみの物を居室に置いています。ご家族様の写真を飾ったりお誕生日カード、毎月ご自身で日にちを記入されたカレンダーを貼っています。</p>	<p>家から使用していた物や家具をできるだけ持ってきて設置され自分だけの部屋として落ち着かされている。シーツ交換は週一回行われ清潔さも維持されている。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室のドアにお名前を貼ったり共有トイレにプレートを付けて分かりやすくしてます。グループホームでの一日の流れや入浴の方の名前を見やすい所に書いています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができていく (参考項目: 9,10,19)	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目: 9,10,19)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働けている (参考項目: 11,12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない